

市民の皆様は市の財政状況を  
 6月と12月に財政事情の公表  
 を行っています。皆様の税金  
 や国、県からの交付金などの  
 ように使われているかをあら  
 わす、下田市の家計簿とよば  
 るものです。  
 今回は、平成21年度決算と  
 平成22年度上半期の予算執行  
 状況についてお知らせします。

# 下田市の家計簿はどうなっているの？

人口と世帯数	人	□	25,224人 (男 12,136人 女 13,088人)
	世帯	帯	11,481世帯
財産	土地	建物	3,888,815㎡
	証券	債権	87,398㎡
	出資による権利	金	220万円
	基	金	8億4,601万円
			6億6,626万円

【平成22年3月31日現在】

## 市税の負担状況

1人当たり  
4万5,579円  
1世帯当たり  
10万0,138円

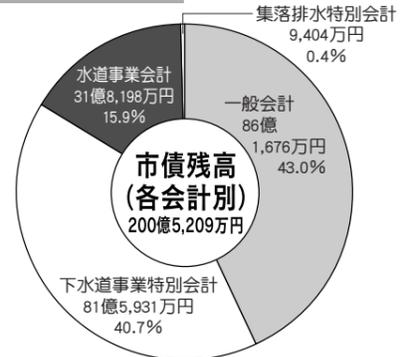
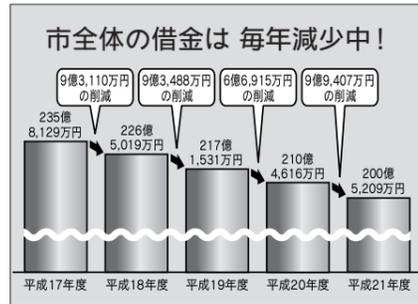
個人の市民税

1人当たり  
6万0,178円  
1世帯当たり  
13万2,212円

固定資産税

市税全体では  
1人当たり 12万5,843円  
1世帯当たり 27万6,481円

## 市債の状況

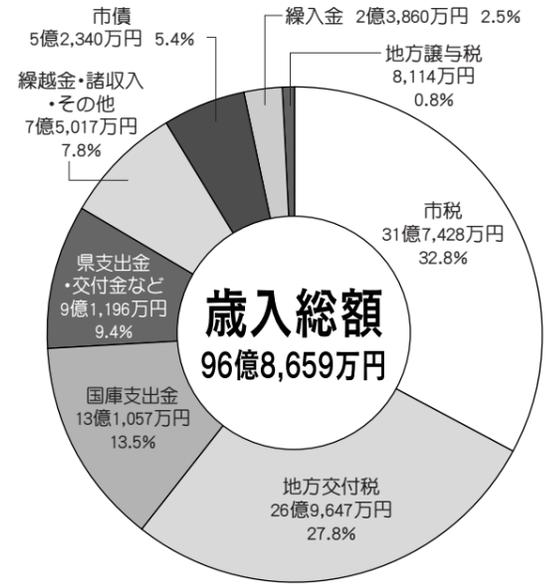
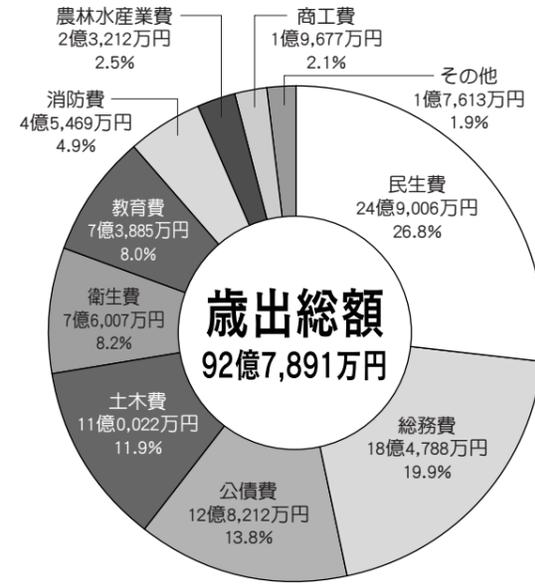


1人当たり 79万4,961円  
(前年比-2万8,796円)  
1世帯当たり 174万6,546円  
(前年比-8万2,442円)

これにより、今後の支払利息を約8億円減額することができました。併せて、平成22年度末の市債残高が200億円以下になる見通しとなりました。

これまでの上下水道料金の改定や行財政改革の効果が認められ、金利5%以上の国から借り入れた市債について、平成19年度から21年度の3年間で28億6千万円の繰上償還が承認され、借り換えを伴う繰上償還を実施しました。

## 一般会計



## 特別会計及び事業会計

特別会計名	予算額	収入済額	支出済額
稲梓財産区特別会計	184万円	190万円	106万円
下田駅前広場整備事業特別会計	1,179万円	1,167万円	1,076万円
公共用地取得特別会計	4,017万円	4,016万円	4,016万円
国民健康保険事業特別会計	34億0,903万円	35億0,870万円	33億2,857万円
老人保健特別会計	1,567万円	916万円	1,077万円
介護保険特別会計	18億8,836万円	18億7,242万円	18億6,449万円
後期高齢者医療特別会計	2億9,012万円	2億8,670万円	2億8,341万円
集落排水事業特別会計	1,712万円	1,700万円	1,671万円
下水道事業特別会計	14億8,711万円	14億8,622万円	14億6,882万円

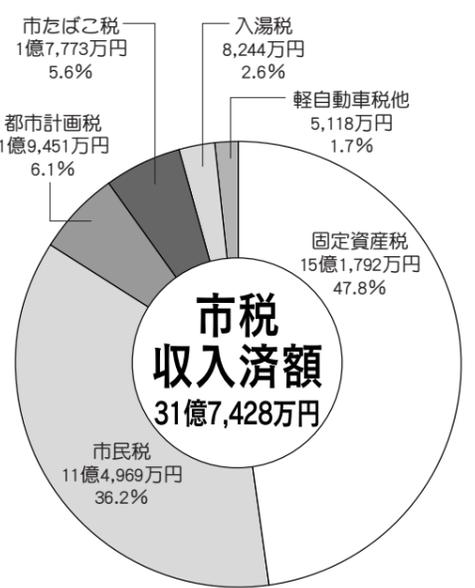
### 【水道事業会計】

収益的収支		資本的収支	
項目	収入済額	項目	支出済額
収入合計	6億9,365万円	収入合計	1億4,609万円
営業収益	6億8,906万円	企業債	1億4,400万円
営業外収益	459万円	出資金	80万円
特別利益	0万円	負担金・その他	129万円
支出合計	5億9,497万円	支出合計	4億2,055万円
営業費用	4億7,037万円	建設改良費	2億4,970万円
営業外費用	1億1,995万円	企業債償還金	1億7,076万円
特別損失	465万円	その他	9万円

純利益：以上により、平成21年度下田市水道事業会計は、9,868万円の黒字となりました。

収入が不足する2億7,446万円は、当年度損益勘定留保資金2億2,881万円、減債積立金3,445万円、その他1,120万円で補てんしました。

## 市税収入の内訳



平成21年度においては、定額給付金給付事業や戸籍電算化事業等のため、歳出決算は約93億円と対前年5・5%増となりましたが、歳入決算で約97億円確保できたため、繰越金が約4億円、実質単年度収支でも約2億円の黒字となりました。

環境整備として、「須崎・白浜漁港漁場整備工事」や「古紙類ストックヤード」の建設、また、教育面では、「小・中学校ICT環境整備事業」「稲生沢中学校屋内運動場改修工事」

を実施し、また老朽化した市民文化会館の映写機の買い替えや施設の改修工事も行いました。福祉施策の面では、「地域子育て支援センター」の建設や緊急通報装置の更新事業を行い、経済対策事業として「住宅リフォーム振興助成金」「プレミアム付き商品券」の補助金を交付したほか、地域活性化の各種補助金を活用して市道や数根公園テニスコートの改修を行いました。また、観光施策として「下田公園あじさい園整備事業」を実施しました。

# 平成21年度決算の状況